～届け！応援する気持ち～
チアリーディング＆チアダンス大会
夏チア 2023

大会ルール
【チアリーディング部門】

2023 年 5 月 26 日更新

—目次—

■目次
■夏チアとは
■大会概要
■競技規定
■安全規定
■演技規定
■表彰について

夏チアとは

チアリーダーは『応援する気持ち』を豊かな表現力で客席に届け、常に前向きにリーダーシップを発揮し、周りの人を勇気づけます。
本大会は、基礎スキルの習得確認を丁寧に行うこと、そして実技レベルを競い合うことのみならず、チアリーダーとしての自覚を持ち・お互いを尊重し・称え合うことを大切にしているチアリーディング＆チアダンス大会です。

身心共に大きく成長するこの『夏』に、積み上げた努力を発揮し、自分を信じてチャレンジする皆様を夏チアは応援します。

この経験を通して皆様が大きく成長することを期待しています。

夏チアスピリットとは

① お互いを尊重し、称え合う気持ちを大切にします。
② 安全で正しい基礎スキルを習得します。
③ 支えてくれる全ての人に感謝の気持ちを表現します。

全ての大会出場者は、この夏チアスピリットを表現することにチャレンジしてください。

① お互いを尊重し、称え合う気持ちを大切にします。
『競い合い、学び合う』
大会とともに行われるワークショップやクリニックでは、チームの垣根を越えて、選手や指導者の交流を大切にしています。

それぞれのチームの良いところを沢山見つけて、全てが学びの機会になることを求めていきます。

②安全で正しい技術を習得します。
大会における『正しい基礎スキル』の重要性は、日々語られる必然のものとなっています。また、基礎スキルを基盤とし１つの技として完成させる身体能力の向上も不可欠なものです。

『正しい基礎スキル』によって裏付けされた『表現力』を選手の皆さんに求めていきます。技術が完成したその先にある、チームがもっとも伝えたいことを表現してください。

③支えてくれる全ての人に感謝の気持ちを表現します。
チアリーダーは『応援する気持ち』を豊かな表現力で客席に届けます。そして多くの人たちが、観客席から大きな声援を送ってくれることでしょう。

皆さんがステージから見る景色は、沢山のキラキラの笑顔で溢れるでしょう。一緒に大会を作ってくれる観客席の皆さんに、大切な自分の気持ちを届けてください。

みんなで夏チアを素晴らしい１日にしましょう！！

大会概要

- 名称：チアリーディング＆チアダンス大会『夏チア 2023』・『夏チア映像審査会 2023』
- 日程：2023 年 8 月 3 日（木）、4 日（金）
- 会場：横浜武道館（横浜市）
- 主催：夏チア実行委員会
- 後援：公益財団法人横浜市スポーツ協会
- 特別協力：株式会社クリエイティブヘッズ
- 運営：夏チア運営事務局
- 出場費：1 名 3,410 円（税込）
- 入場券：【全席自由】3,190 円（税込）※未就学児は入場無料
  情勢により、入場制限および無観客開催の可能性がございます。つきましては入場券の販売 7 月以降とさせていただきます。

競技規定

◉エントリー種類

①コンペティション

一定の規定（安全規定、演技規定）に基づき、種目ごとの要素を取り入れた演技で審査を行います。

②フェスティバル

誰でも参加できる大会を目指し、初めて挑戦する方にもご参加いただける様、年齢、人数、時間の緩和をしたエントリー種類です。安全面、正しさを求める本大会コンセプトにより、規定はコンペティションと同様とさせていただきます。

※表彰はございません。審査員からのコメント（アドバイザリーシート）お渡しいたします。

◉カテゴリー

① コンペティション

PREPレベル 1	レベル 1
PREPレベル 2	レベル 2
PREPレベル 3	レベル 3
	レベル 4

②フェスティバル

PREPレベル 1	レベル 1
PREPレベル 2	レベル 2
PREPレベル 3	レベル 3
	レベル 4

◇ジェネラルスポッターについて
チアリーディング部門では選手の安全のため、ジェネラルスポッターを必要とする場合には各チームでつけることが可能です。ただし、安全規定でも
2, コーチは個々の選手とチームの能力、レベルを考慮して演技全体のパフォーマンスレベルを決定すること。
とあるように、自チーム選手内での安全な演技を推奨しております。

従って、演技上チームとして必要ない場合にはジェネラルスポッターは必須とはいたしません。（最大3名）

◉年齢ディビジョン
TINY ・・・ 出場選手全員が３歳以上の未就学児
MINI ・・・ 出場選手全員が小学１年生以上、小学校4年生以下
YOUTH・・ 出場選手全員が小学1年生以上小学生6年生以下
JUNIOR・・ 出場選手全員が小学1年生以上中学生以下
SENIOR・・ 出場選手全員が小学5年生以上高校生以下
OPEN・・・ 出場選手全員が中学2年生以上
※ただしチームの80%が各部門に設定された年齢であれば上記の要件を満たすものといたします。
（大会出場時の2023年8月3日時点で）

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
TINY	○			
MINI	○	○		
YOUTH	○	○		
JUNIOR	○	○	○	
SENIOR	○	○	○	○
OPEN				○

※チアリーディング・コンペティションおよびフェスティバルに出場するTINY（タイニー）は、レベル1、MINI（ミニ）はレベル1、2の出場のみ可能とします。また、MINI（ミニ）以上の編成に未就学児を含む場合、安全性を考慮しレベル1のみ出場可能とします。

◉人数ディビジョン
5 名以上、３８名まで

◉クロスオーバークロスオーバー（重複出場選手）について
1 人が 2 チームまで重複エントリー可であるが、以下の条件を満たさなければならない。
・同一年齢ディビジョンの 2 チームに一人がエントリーする事は不可
・別年齢ディビジョンの 2 チームにエントリーする事は可
・コンペティションとフェスティバルの 2 チームにエントリーする事は可

（例）
Youth ディビジョンレベル 1 と Youth ディビジョンレベル 2 は不可
Mini ディビジョンレベル 1 と Youth ディビジョンレベル 2 には可

◉演技フロアサイズ
縦 12m×横 16m
チアリーディング専用マット（9 枚）

◆演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止です。
（選手への発声指示および誘導を含む）
※フェスティバル部門につきましては、その限りではございません。

◉演技時間
① コンペティション　＜チームの持ち時間 5 分間＞
1 人目の選手がコートに入ったところからチーム持ち時間の 5 分間がスタートいたします。
チーム名が呼ばれたら（スタッフの指示により）速やかにコートにご入場下さい。

チアクライテリア 30～40 秒程度（チアクライテリアは必ず入れること）
ミュージックパート 2 分 30 秒以内（PREP レベルは 2 分以内）

◆注意点
マイクを利用したチーム紹介（マイクパフォーマンス：自チームアピール及び挨拶）とマイク無しのチアクライテリアを入れること。上記 2 点は持ち時間の 5 分に含まれます。

② フェスティバル　＜チームの持ち時間 4 分間＞

1 人目の選手がコートに入ったところからチーム持ち時間の 4 分間がスタートいたします。
チーム名が呼ばれたら（スタッフの指示により）速やかにコートにご入場下さい。

◇演技時間　　2 分 30 秒以内

◆注意点
マイクを利用したチーム紹介（マイクパフォーマンス：自チームアピール及び挨拶）を必ず入れること。

安全規定

1、大会期間中、全てのチームは認定された引率者もしくはコーチが付き添うこと。
2、コーチは選手個人とチーム能力、レベルを考慮して演技全体のパフォーマンスレベルを決定すること。
3、全ての選手,コーチ,引率者はメンバーが負傷した場合、迅速に対応できるよう対策をしておくこと
4、本大会に参加するにあたり、スポーツマンシップに則り、マナーのある行為を心がけること。
5、それぞれのチーム代表者またはコーチは、自チームのメンバー、コーチ、保護者などチーム関係者の監督責任を持つこと。
6、演技中、審査員が危険と判断した動作に関しても、減点対象となります。

◉練習、演技について
タンブリングは適切な地面で行うこと（コンクリート、アスファルト、濡れている場所、障害物のあるところで行わないこと)。大会中、指定の場所以外での練習は禁止となります。
◉手具について
フラッグ,バナー,サインボード,ポンポン,メガホンの使用は可能です。手具は演技の妨げにならないよう、安全に拾捨すること。演技に利用しない手具は演技フロア内への持ち込み禁止。

◉キャッチ・着地について
膝、お尻、正面や背中から落下するもの及び、ジャンプ、スタンツ、または頭が下になった姿勢からのスプリッツデイスウントは禁止です。 例外として、体重の大半が手もしくは足にかかり、落下の衝撃を吸収できる場合のみ可能とします。

演技規定

◉振付・服装・選曲について
挑発や侮辱、品の欠ける振付、服装、音楽の使用は家族が観る大会として不適切なものは避けること。

◆ユニフォームについて
挑発的で下着を彷彿させるようなユニフォームは認められません。破損の可能性がない様、安全であること。

◇ユニフォームスカート・ショーツ
ユニフォームの１部としてスカートを着用する時は、スカートの下にアンダースコートを着用すること。
また、スカートはお尻およびアンダースコートを完全に覆っていること。

◇ユニフォームトップ
シニア、オープン編成で出場する場合を除き、腹、背中部分が極度に出るものに関しては不可とする。
演技中は、全てのユニフォームは選手を覆い、下着も覆っていなければなりません。
心配な場合には事務局にお問い合わせください。

◉演技構成について
全ては観客に向けて適切であり､楽しめるものであること。選手の年齢を考慮した内容で演技構成をすること。
音楽の解釈が演技構成とマッチしていること。

◉演技内容について

１、構成について

チアリーディングの要素（スタンツ、ピラミッド、ジャンプ、タンブリング、ダンス）を用いて構成されたカテゴリーです。チアクライテリアでは手具やアームモーションでチームアピールをする構成を組み込むこと。

２、ジャンプについて

スコアシート解説に則り、各カテゴリー、年齢編成にあったアドバンスジャンプを指定回数飛ぶことが望ましい。

３、タンブリングについて

・立位タンブリング→スコアシート解説に則り、チームの選手がレベル該当スキル ※1）を指定のとおり、シンクロして行うことが望ましい。

・走り込みタンブリング→スコアシート解説に則り、チームの選手がレベル該当スキル ※1）を行うことが望ましい。

※１）レベル該当スキルについてはチーム代表者ページにて詳細をご案内します。

４、ダンスについて

エナジーがあり、エンターテイメント性、シンクロ性、視覚的効果のある振付であること。

カテゴリー別【PREP レベル 1、レベル 1 共通】

１、タンブリング

◇全般

・タンブリングは開始から終了までマット内で行うこと。

・タンブリングで選手・手具などの飛び越えや、下をくぐる行為は禁止。

・ポンポンなど手具を持ったままでのタンブリングは禁止。

・飛び込み前転は禁止。

◇立位/走り込み

・タンブリング中、床を突き放した状態で体が宙に浮くことは禁止。

・前転、後転、前方・後方ウォークオーバー、倒立、側転、ロンダートは可能。

・ロンダートからすぐに続くコンビネーションタンブリングを入れるのは禁止。

２、スタンツ

・プレップ（エレベーター）レベル以上のスタンツには必ずスポッターをつけること。

・フロアスタンツ（ベースが地面に寝て腕を伸ばして支えるスタンツ）を行う場合には各トップにスポッターが必要。

・片足スタンツはウエストレベルでのみ可能。

・プレップレベルより高さの上がるスタンツは禁止。

・スタンツのマウントや移行で 1/4 回転までは可能。

・スタンツ、ピラミッド、で選手が他のスタンツ・ピラミッドを越えたり、くぐる行為は禁止。

・ベースからトップが離れるリリースムーブにおいては、必ずもとのベースに戻ること。

・レベル 1 で許可されている”ディスマウント”以外のリリースムーブは禁止。

3、ピラミッド

・ピラミッドを行う際はパートナースタンツ、ディスマウントの規則に則り行うこと。
・シングルベースでのエクステンションスタンツは、タイニー、ミニ、ユース編成では禁止。
・両足のエクステンションスタンツは、プレップレベル以下のトップ１名と、手か腕で支えあうこと
この場合ブレサーとの支持はエクステンションになる前、プレップレベル以下の段階で行うこと。
・片足のプレップレベルスタンツは、プレップレベルかそれ以下のブレサーと、手か腕で支えあうこと。
この場合、ブレサーとの支持は片足になる前に行うこと。
・エクステンションでの片足スタンツは禁止。

4、ディスマウント

・ベースからリリースされて、クレイドルになる動きと、補助されながら競技フロアに着地する動きをディスマウントと定義する。
・一人ベースからのディスマウントは、１名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず１名つけること。
・複数ベースからのディスマウントは２名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず１名つけること。
・フロアへのディスマウントをする場合には、必ず元のベースかスポッターに補助されること。
・レベル１のディスマウントはストレートポップダウンかストレートクレイドルのみ可能。
・ピラミッドでプレップレベルより高い高さからディスマウントすることは禁止。
（ピラミッドでエクステンションの高さに上がる場合にはディスマウンド時にプレップまで下げる）
・ウエストレベルからのクレイドル、スポンジトスは禁止。

カテゴリー別【PREP レベル２、レベル２共通】

1、タンブリング

◇全般
・タンブリングは開始から終了までマット内で行うこと。
・タンブリングで選手・手具などの飛び越えや、下をくぐる行為は禁止。
・ポンポンなど手具を持ったままでのタンブリングは禁止。
・飛び込み前転は可。

◇立位
・宙返り系は禁止。
・連続バック転は禁止。
・ジャンプバック転、バック転ジャンプなどの連続技は禁止。

◇走り込み
・宙返り系は禁止。
・フロントから入りロンダートバック転など連続技は可能。
・ロンダート以外のツイストは禁止。

2、スタンツ　＜スタンツ有り＞

・すべてのプレップレベルより高い高さのスタンツには必ずスポッターをつけること。
・フロアスタンツ（ベースが地面に寝て腕を伸ばして支えるスタンツ）を行う場合には各トップにスポッターが必要。
・プレップレベルより高い高さの片足スタンツは禁止。
・シングルベースでのエクステンションスタンツは、タイニー、ミニ、ユース編成では禁止。
・スタンツのマウントや移行で 1/2 回転までは可能。
・フリップを含むスタンツやトランジションは禁止。
・スタンツ、ピラミッド、選手が他のスタンツ・ピラミッドを越えたり、くぐる行為は禁止。
・シングルツイストのログロールは可能だがクレイドルの形で始めクレイドルの形で終了すること。
・レベル 2 で許可されている”ディスマウント”以外のリリースムーブは禁止。
・リリースムーブは必ず元のベースに戻ること。
・インバージョンについて、競技フロアで逆さ状態から逆さでないスタンツへの移行は可能。

3、ピラミッド

・ピラミッドを行う際はパートナースタンツ、ディスマウントの規則に則り行うこと
・シングルベースでのエクステンションスタンツはミニ、ユース編成では禁止
・エクステンションスタンツは、他のエクステンションスタンツとブレースし合うことは禁止
・片足のエクステンションレベルスタンツは、プレップレベルかそれ以下のブレサーと、手か腕で支えあうこと。この場合、ブレサーとの支持はエクステンションになる前に行うこと

4、ディスマウント

・ ベースからリリースされて、クレイドルになる動きと、補助されながら競技フロアに着地する動きをディスマウントと定義する。
・ 一人ベースからのディスマウントは、1 名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず 1 名つけること。
・複数ベースからのディスマウントは 2 名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず 1 名つけること。
・フロアへのディスマウントする場合には、必ず元のベースかスポッターに補助されること。
・スタンツでのディスマウントはストレートポップダウン、ストレートクレイドル、1/4 ツイストクレイドルのみ可能。
・ミニ、タイニーディビジョン、及び PREP レベル 2 ではウエストレベルからのクレイドルは禁止。

5、バスケットトス

・レベル 2 では、ストレートトスのみ可。
・手を使ってのバリエーションのみ可。
・ミニ、タイニーディビジョン、及び PREP レベル 2 では、いかなるバスケットトスも禁止。
スポンジトスも含む。

カテゴリー別【PREP レベル３、レベル３共通】

１、タンブリング

◇全般

・今大会においてラインオーバーの減点はないが、タンブリングは開始から終了までマット内で行うこと。
・タンブリングで選手・手具などの飛び越えや、下をくぐる行為は禁止。
・ポンポンなど手具を持ったままでのタンブリングは禁止。
・飛び込み前転は可。

◇立位

・宙返り系は禁止。
・転回・バック転の連続技は可。

◇走り込み

・フリップ技を行う場合には、ロンダートもしくは、ロンダートバク転から始めること。
・側転からのフリップ技は禁止。
・側宙、前宙、3/4 前方フリップは可能。
・フリップや側宙から続くタンブリングは禁止（前転、後転も不可）。続けて行う場合には少なくとも 1 ステップ加え、次のタンブリングパスと明確に分けること。
・ロンダート、側宙以外のツイストは禁止。

２、スタンツ

・すべてのプレップレベルより高い高さのスタンツには必ずスポッターをつけること。
・片足エクステンションスタンツは可能。
・シングルベースでのエクステンションスタンツはタイニー、ミニ、ユース編成では禁止。
・スタンツでのツイストは 1 回転までとし、プレップ、エクステンションが可。
・エクステンションからや、エクステンションへのツイストは 1/2 回転までとすること。
・スタンツ、トランジションの間、少なくともベース 1 名がトップの体に触れていること。
（リリースムーブの例外除く）
・フリーフリッピングスタンツ、トランジションは禁止。
・スタンツ、ピラミッド、選手が他のスタンツ・ピラミッドを越えたり、くぐる行為は禁止。
・リリースムーブはウエストレベル以下から開始し、プレップレベル以下となる場合は可。
ベースが腕を伸ばしたところを超えないこと。
・リリースムーブでのインバート状態での着地は禁止。
・リリースムーブで行なえる技は 1 種類でツイストは禁止。
・リリースムーブで他の場所に飛ばすことや、選手を超えることは禁止。
・インバージョンになる場合にはプレップレベルで可。
・インバージョンのツイストは 1/2 まで。
・ダウンワードインバージョンはウエストレベル以下からの実施のみ。トップの上半身を２名のキャッチャーが支持すること。

3、ピラミッド

・ピラミッドを行う際はパートナースタンツ、ディスマウントの規則に則り行うこと
・片足のエクステンションスタンツは、他のエクステンションスタンツとブレースし合うことは禁止
・ツイストは 1 回転まで。1/2 ツイストを超える片足エクステンションスタンツはプレップレベルのブレサーが必要。
・リリースムーブはベースと二人のブレイサーに支えられている場合のみ実施可能
・リリースムーブでベースが交代するのは禁止
・トランジションの間、少なくとも 2 名のキャッチャー（1 名はスポッターであること）が必要

4、ディスマウント

・ ベースからリリースされて、クレイドルになる動きと、補助されながら競技フロアに着地する動きをディスマウントと定義する。
・ 一人ベースからのディスマウントは、1 名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず 1 名つけること。
・複数ベースからのディスマウントは 2 名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず 1 名つけること。
・スタンツやピラミッドで、腰よりも高い高さから競技フロアへディスマウントする場合には、必ず元のベースに補助されること。
・片足からのディスマウントはストレートポップダウンか 1/4 クレイドルまで可能。
・両脚からのディスマウントは 1-1/4 ツイストクレイドルまで可能。
・両脚からのディスマウントは 1 種類のみ技を入れる事が可能。
・ミニ、タイニーディビジョン、及び PREP レベル 3 では、いかなるバスケットトスも禁止。スポンジトスも含む。

5、バスケットトス

・レベル 3 では、1 技を入れたバスケットトス実施が可能。例）トウタッチ、フル、キック等
・ミニ、タイニーディビジョン、及び PREP レベル 3 では、いかなるバスケットトスも禁止。スポンジトスも含む。

カテゴリー別【レベル４】

1、タンブリング

◇全般
・タンブリングは開始から終了までマット内で行うこと。
・タンブリングで選手・小道具などの飛び越えや、下をくぐる行為は禁止。
・ポンポンなど小道具や手具を持ったままでのタンブリングは禁止。
・飛び込み前転は可。

◇立位
・立位宙返りとバック転からの宙返りは可。
・フリップは 1 回転まででツイストは不可。
・エアリアル、オノディーは可。
・宙返りから続けて技の実施はできない。

◇走り込み
・ツイストなしの宙返りは 1 回転まで可。
・側宙、着手なしのウォークオーバー、オノディー可。

2、スタンツ

・すべてのプレップレベルより高い高さのスタンツには必ずスポッターをつけること。
・片足エクステンションスタンツは可能。
・シングルベースでのエクステンションスタンツはタイニー、ミニ、ユース編成では禁止。
・スタンツでのツイストは 1-1/2 回転までとする。
・1/2 回転を超えてエクステンションになる場合には両足スタンツ、プラットフォームポジション、リバティーのみとする。
・スタンツ、トランジションの間、少なくともベース 1 名がトップの体に触れていること。
（リリースムーブの例外除く）
・フリーフリッピングスタンツ、トランジションは禁止。
・スタンツ、ピラミッド、選手が他のスタンツ・ピラミッドを越えたり、くぐる行為は可能。
・リリースムーブはベースが手を伸ばしたところを超えない限り可能。
・リリースムーブでのインバート状態での着地は禁止。
・リリースの際直立で着地しない場合には複数ベースでは 3 人以上のキャッチャー、シングルベースでは 2 人以上のキャッチャーが必要。
・リリースされたら元のベースにもどること。
・エクステンションになるリリースムーブはウエストレベル以下から開始し、ツイストやフリップ技は不可。
・リリースムーブで行なえる技は 1 種類でツイストは不可。
・ヘリコプターは 180°まで可能でツイストは不可。3 人キャッチャーが必要。
・リリースムーブで他の場所に飛ばすことや、選手を超えることは禁止。
・エクステンションの高さでのインバージョンは可。
・プレップレベルからのダウンワードインバージョンは可。2 名のキャッチャーが上半身を支持すること。
・ダウンワードインバージョンはもとのベースがトップにふれていること。
・ダウンワードインバージョン同士で接触することは禁止。

3、ピラミッド

・ピラミッドを行う際はパートナースタンツ、ディスマウントの規則に則り行うこと
・片足のエクステンションスタンツは、他の片足エクステンションスタンツとブレースし合うことは禁止
・スタンツ、ピラミッドが他のスタンツ、ピラミッドを超えたり下をくぐったりすることは禁止
・リリースなしのツイストは 1-1/2 回転まで可。
・インバートなしのリリースはブレイサー 1 名と、キャッチャー 2 名（うち 1 名はスポッター）が必要。
・リリースのツイストは 1-1/2 回転まで可。ブレイサー 1 名と、キャッチャー 2 名（うち 1 名はスポッター）が必要。
・インバージョンのフリップは 2 名のブレサーが必要でツイスト禁止。キャッチャーは 3 名。

4、ディスマウント

・ ベースからリリースされて、クレイドルになる動きと、補助されながら競技フロアに着地する動きをディスマウントと定義する。
・ 一人ベースからのディスマウントは、1 名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず 1 名つけること。

・複数ベースからのディスマウントは 2 名のキャッチャーと、頭、肩を守るためにスポッターを必ず 1 名つけること。
・ディスマウントは、必ず元のベースに戻ること。
・両脚からのディスマウントは 2-1/4 ツイストクレイドルまで可能。
・片足からのディスマウントは 1-1/4 クレイドルまで可能。

5、バスケットトス
・レベル４では、２技を入れたバスケットトス実施が可能。
例）キックフル、パイク X、トウタッチフル、ダブルフル等

審査・表彰について

◉審査について
・審査は部門、カテゴリー、レベル、年齢ディビジョンごとに行われます。
・3 名以上の審査員と、セイフティー審査員 1 名以上により厳選なる審査を行います。
・獲得得点は各カテゴリー審査員の点数を足して 100 点換算し、減点対象ポイントを引いた点数となります。（チアクライテリアについては審査員の平均点が得点となります）

＜ビデオ審査について＞
夏チアは、チアリーダーの継続的な活動を応援する大会として開催をいたします。当日会場に来られないチームの皆様にもご参加いただけるよう、「夏チア映像審査会」の開催をいたします。詳しくは、夏チアオフィシャルサイトをご確認ください。

※審査は夏チアルールに基づき行いますので、競技規定、演技規定、安全規定等のご確認をお願いいたします。ビデオ審査等への動画撮影の際、安全上レベル 3 以上はマットの利用を必須とさせて頂きます。

◉表彰について
①　コンペティション
・総合賞：カテゴリー、レベル、年齢ディビジョンごとの高得点獲得チームへの表彰（1 位から最大 8 位）
・特別賞：マンダム賞、テクニカル賞、スピリット賞、スマイル賞の表彰

②フェスティバル
アドバイザリーシートのお渡しとなります。